

岐阜市ごみ処理有料化計画の概要

1 ごみ処理有料化スケジュール

- 令和7年2月～3月 意見聴取（市民意見交換会、パブリックコメント等）
- 令和7年4月23日 環境審議会
- 令和7年5月14日 ごみ減量・資源化推進対策本部会議
- 令和7年6月議会 **条例・規則改正（ごみ処理手数料）、補正予算計上**
- 令和7年7月～ 有料化実施に必要な手続き（指定ごみ袋製造・流通）、市民・事業者周知（地域説明会、チラシ全戸配布等）
- 令和8年8月頃 有料指定ごみ袋販売開始
- 令和8年10月 **ごみ処理有料化開始**

2 家庭系ごみ、事業系ごみ処理有料化制度

(1) 対象とするごみ

- 「家庭系普通ごみ」と「事業系普通ごみ」
- 有料化の対象外
 - 資源ごみ（ビン、カン、ペットボトル、プラスチック製容器包装など）
 - 都市美化ごみ（地域のボランティア清掃活動などで出る普通ごみ）

※資源ごみは、市販の無色透明又は乳白色で半透明のごみ袋やレジ袋で排出可能
 ※都市美化ごみは、これまでどおり、個別に市が無料回収するか、少量の場合には、ボランティア用指定ごみ袋を無料配付し、ごみステーションに排出可能

(2) ごみ処理手数料の徴収方法及び料金水準

- ごみ処理手数料を含む市指定のごみ袋で排出する「有料指定ごみ袋方式」
- ごみ処理手数料は、「ごみ処理原価」「排出抑制・再生利用の促進」「住民の受容性」「周辺市町の料金水準」の観点で検討を行い、**45Lのごみ袋1枚あたり50円**（1Lあたり1.11円）
- ごみ減量への動機づけや多様な生活様式への配慮の観点などから、**3種類（45L、30L、15L）**
- ごみ排出時の利便性を考慮し、口を結びやすく、持ち運びしやすい持ち手付きの形状
 ※事業系普通ごみは、1種類（45L [50円]）で平袋型

ごみ袋の容量	家庭系			事業系
	45L	30L	15L	45L
ごみ袋1枚あたりの手数料 [税込]	50円	33円	16円	50円
手数料額（10枚入り/袋） [税込]	500円	330円	160円	500円

※45L袋50円（1Lで1.11円）を基準として、ごみ袋の容量に応じて単価を設定
 ※指定ごみ袋取扱店（スーパー、コンビニ、ドラッグストアなどの小売店を想定）では、全てのサイズを1袋（10枚入り）単位で販売

(3) ごみ処理手数料の減免

- 「生活保護受給世帯」、「天災その他の災害を受けた者（災害ごみ、火事ごみ）」
- 自治会やまちづくり協議会等の地域団体が行うイベント等で発生する「地域のイベントごみ」

(4) ごみ処理手数料収入の試算額及び制度実施に伴う経費見込み

- ごみ処理手数料収入：約**9.2億円**（家庭系：約**5.7億円**、事業系：約**3.5億円**）
- 制度実施に伴う経費：約**3.7億円**（家庭系：約**2.3億円**、事業系：約**1.4億円**）
 ※ごみ処理手数料収入は、指定ごみ袋の製造費などの制度実施に伴う経費のほか、ごみ減量・資源化施策の推進、地域のごみ処理を支援する経費等に使途

家庭系の収支約**3.4億円**を、併用施策に使途

3 ごみ処理有料化に伴う併用施策

- 有料化に併せて新たな施策を実施し、市民の「ごみの減量・資源化」の取り組みを促進
- 安定的なごみ処理体制の維持のため、「地域のごみ処理支援に係る施策」を実施
- 各施策は、市民意見を踏まえると共に、**できる限り地域の負担とならない仕組み**とする
- 有料化で得られる財源の範囲内で対応

区分	併用施策	概要
(1) ごみの減量・資源化	①家庭系剪定枝の資源化	・家庭系剪定枝（家庭で庭木を剪定した枝や葉）を回収し、バイオマス燃料などに資源化
	②プラスチック製品の再商品化（R10年度末までに実施）	・プラスチック製容器包装以外のプラスチック製品（スプーン・フォーク、ストローなど）を回収し、再商品化
	③その他の資源化手法の調査研究	・使用済み紙おむつの資源化 ・落ち葉や刈り草、草花の資源化 ・事業系ごみの資源化の推進
(2) 地域のごみ処理支援	①ごみステーション維持管理等に対する自治会への協力費	・カラス対策のネットの購入やごみ当番の謝礼、有料指定ごみ袋の配付など、自治会の裁量で、広い用途で利用できる協力費を交付
	②高齢者等へのごみ出し支援	・ごみをステーションへ持ち出すことが困難な高齢者等に代わって、 地域でごみ出しを協力する活動に支援金を交付

4 ごみ処理有料化の実施に向けた取り組み

(1) 周知及び啓発活動

- 各地区で説明会を開催、広報ぎふや市ホームページ、SNS（LINE、Facebook、X）の活用
- 自治会未加入者や外国人にも情報が届くよう、**有料化制度チラシの全戸配布**（R8年夏頃）など、様々媒体を通じて周知啓発

(2) 不適正排出・不法投棄対策

- 不適正に排出されたごみは、「イエローカード」を貼り、一定期間残置し、排出者に**注意喚起**。その後、内容物調査を行い、排出者が特定できた場合は、直接指導を実施
 ※鳥獣被害等への配慮が必要なごみは、自治会と協議のうえ速やかに回収し、内容物調査・排出者特定を実施
- 不適正排出が繰り返されるステーションは**市職員による早朝パトロール**や、**警察と連携して対応**
- 山間部などの市職員及び民間警備会社によるパトロールなどにより、不法投棄を未然防止
- 「不法投棄110番」、「市オンライン申請総合窓口サイトの『不法投棄110番オンライン』」による通報のほか、市ごみ分別アプリ「さんあ〜る」にも通報機能を追加し、迅速な対応を図る

(3) ステーション管理のルール化

- 実態調査**を行い、地域の実情を踏まえ、**ステーションの設置基準、利用方法などをルール化**
- 事業系普通ごみのステーション排出（50kgルール）は基準を見直し継続

(4) 評価と見直し

- ごみ処理有料化の効果や併用施策の実施状況を、**岐阜市環境審議会等**において、**点検評価**
- 点検評価の内容を踏まえ、一定期間ごとに、有料化制度及び併用施策の**見直しを実施**